

報道発表資料の配付日時 3月5日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	道内における雪による人的被害状況について																							
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																						
		発表場所																						
概要	<p>○ 被害状況</p> <p>令和5年11月1日から令和6年2月29日までに発生した北海道内における雪による人的被害の状況は、別添資料のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>死者</th> <th>重傷</th> <th>軽傷</th> <th>死傷者計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[今回集計分]</td> <td>9名</td> <td>34名</td> <td>134名</td> <td>177名</td> </tr> <tr> <td>[昨年同時期]</td> <td>20名</td> <td>81名</td> <td>231名</td> <td>332名</td> </tr> <tr> <td>(差)</td> <td>(△11)</td> <td>(△47)</td> <td>(△97)</td> <td>(△155)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 北海道のホームページでの公表</p> <p>https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/yukihigaizyoukyou.html</p> <p>○ 減少の要因として、道北や胆振地方などでは降雪量が平年より多い地点があるものの、全道的には少なく経過しており、事故の発生件数が減少していると考えられます。</p> <p>ただし、3月は気温が上がり、雪解けによる落雪事故の発生が懸念されるため、今後も注意が必要です。</p>				区分	死者	重傷	軽傷	死傷者計	[今回集計分]	9名	34名	134名	177名	[昨年同時期]	20名	81名	231名	332名	(差)	(△11)	(△47)	(△97)	(△155)
区分	死者	重傷	軽傷	死傷者計																				
[今回集計分]	9名	34名	134名	177名																				
[昨年同時期]	20名	81名	231名	332名																				
(差)	(△11)	(△47)	(△97)	(△155)																				
参考																								

報道(取材)に当たってのお願い	除雪時等における事故(屋根やハシゴからの転落事故、除雪機による事故)や、雪解けによる落雪事故の防止に向けて、一層の注意喚起の報道について御協力をお願いします。			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)		
	同時レク			
担当(連絡先)	総務部危機対策局危機対策課(担当者:課長補佐 國田 博之) TEL ダイヤルイン 011-204-5900 内線 22-554			